

3 年	特に育成したい能力や態度 (<u>具体的な数字や言葉で記載する</u>) 2～3にしぼる。	授業改善の視点と具体的な方策 (具体的に達成すべき数値目標を記載する) 左側のものとリンク【対応させる】	達成率【割合】 A・・・90%以上の児童 B・・・90～80%の児童 C・・・80～70%の児童 D・・・70%以下の児童
国語	- 文章から、考えの根拠となる文章を読み取る。 - 自分の考えをノートにまとめたり、発表したりする。 - 漢字・語彙の定着を図る。	- 必要な文章や大切な文章にサイドラインを引かせ、根拠となる文章を視覚的に捉えやすくする。 - 発表する時に、自分の考えと合わせて理由を発表することを習慣付ける。 - 話型や考えの手がかりとなるキーワードを板書で整理し、自分の考えを書いたりまとめたりする時間を設定する。また、その都度手本を示してそれを見ながら、正しく書く習慣を身に付けさせる。 - 毎日の家庭学習での漢字練習に加えて、毎回の授業で新出漢字の学習をする。 - 国語辞典を教室に常置し、意味調べの時間を設定し、調べる習慣を付ける。	(成果) 毎日の漢字練習によって、3年生の新出漢字を身に付けることができた。(B) (課題) 自分の考えを言語化することに課題がある。引き続きモデルや話型を示していく必要がある。
社会	- 学習内容、知識の定着を図る。 - 資料を読み取り、活用する力を高める。 - 設定した課題をもとに、インタビューや調べ学習を行い、必要な情報を集める。	- 視聴覚教材を活用し、授業の始めなどに繰り返し取り組むことで、方位や地図記号など基礎的な知識を習得させる。 - 写真、地図、グラフを提示し、課題を発見しやすくしたり、比較させることで、変化や違いに気付かせたりする。 - 学習計画に、図書室での調べ学習やインターネットを使った検索、地域の方へのインタビューを順次取り入れ、さまざまな調べ方があることを理解させる。	(成果) 資料から、課題を発見しながら、学習することができた。(B) (課題) 資料を読み取り、考察したことを言語化することに課題がある。

理科	・問題→予想→実験→結果→考察の流れを理解し、理科学習の流れが分かる。 ・実験や観察の結果を、ノートやワークシートに分かりやすくまとめる。 ・予想や考察では、他者との交流を通して、自分の言葉で論理的に表現することができる。	・問題、予想、実験、考察、まとめのマグネットを黒板に貼り、授業に見通しをもたせる。 ・授業の流れと同じノート作りをすることで、ノートに整理しやすくする。 ・図や表を使ってまとめることを意識させるために、表の部分だけを印刷して貼ったり、教師が図や絵の見本をかいいたりする。 ・考察の話型を提示し、論理的な思考力を身につけさせる。 ・I C T端末を用いて、全体での意見交流の場を多く設ける。	(成果) 問題作りの過程を意識しながら、学習することができた。(B) (課題) 実験結果から分かったことを自分の言葉で表現することに課題がある。
道徳	・登場人物の気持ちに共感する ・学習内容を自分のこととして捉え、より良く生きようとする気持ちを育てる。 ・友達の意見を聞いて自分の考えを深める。	・これまでの自分の経験を元に、照らし合わせながら読むように指導する。 ・もしも登場人物が自分だったら、同じような出来事が身の回りで起きたらと想定し、とりたい行動を考えられるよう指導する。 ・授業内でペアワークをしてから全体へ発表するといった、段階的な交流活動を取り入れていく。	(成果) 意見交流を通して、友達の考えを共有することができた。(A) (課題) 考えを自分の言葉で表現することが難しい児童がいる。